

## 部会長挨拶



2024年度から化学工学会 粒子・流体プロセス部会部会長を仰せつかりました、千葉工業大学・仁志です。副部会長の太田先生(徳島大学)、加納先生(東北大学)をはじめ幹事の方々と共に本部会の益々発展のため務めますので、ご協力よろしくお願いいたします。

COVID-19の世界的な感染拡大、外出自粛は終わったものの、学会を取り巻く環境や学会活動はコロナ前と大きく変わっているように感じられます。年会、秋季大会、さらにはセミナーや講習会へのオンライン参加は、参加者の利便性につながりましたが、これまで会場やその廊下で行われていた双方向の情報交換のあり方を変えたともいえます。このことは、ともすれば、学会や部会に対する求心力の低下につながりかねません。

私たち粒子・流体プロセス部会は、学会内の最大部会の1つとして、新しい世代の技術者、研究者、学生の方々にとっても、これまで以上に魅力ある研究、技術者集団なければなりません。

部会執行部はこれまで通り「熱物質流体工学分科会」、「ミキシング技術分科会」、「気泡・液滴・微粒子分散工学分科会」、「流動層分科会」、「粉体プロセス分科会」の5つの分科会の活動をサポートすると共に、それぞれの分科会の新しい試みをエンカレッジし、それが迅速かつスムーズに実現するよう協力していきます。各分科会会員の皆様には、それぞれの分科会研究活動への積極的なご参画と、新しいお仲間も巻き込んだ活発なご参加を賜りたく、お願いいたします。

仁志 和彦 (千葉工業大学)